

一般公開シンポジウム

終末期医療と 人の死を考える



8月7日(土)

14:00 - 17:00

豊中市千里公民館 3F 第一講座室
(06-6833-8090)

千里中央駅より徒歩約8分

入場無料 どなたでも自由にご参加ください

◆ゲスト

恒藤 暁

大阪大学大学院医学系研究科教授・緩和医療学

「緩和ケアからみる現代医療の光と影」

森岡 正博

大阪府立大学人間社会学部教授・哲学

「日本人の死生観と現代に求められる死の哲学」

◆ホスト

大村 英昭

関西学院大学社会学部教授

石蔵 文信

大阪大学大学院医学系研究科准教授

主催：生き方 死に方を考える社会フォーラム 共催：医療人文学研究会

連絡先：大阪大学人間科学研究科文化社会学研究室

山中浩司 Tel/Fax:06-6879-8078 e-mail:yamanaka@hus.osaka-u.ac.jp

一般公開シンポジウム
「終末期医療と人の死を考える」

http://bunka.hus.osaka-u.ac.jp/medical_humanities/meeting.html

主催： 生き方 死に方を考える社会フォーラム

共催： 医療社人文学研究会

日時： 2010年8月7日(土) 午後2時

場所： 豊中市千里公民館3F 第一講座室

〒560-0082

豊中市新千里東町1丁目2-2

Tel 06-6833-8090

入場無料

どなたでもお気軽にお越しください

お問い合わせは 大阪大学人間科学研究科文化社会学研究室まで

山中 浩司 Tel/Fax : 06-6879-8078

e-mail : yamanaka@hus.osaka-u.ac.jp



モノレール千里中央駅から徒歩約8分
北大阪急行千里中央駅北改札から徒歩約3分

ゲストプロフィール：

恒藤 暁 (大阪大学大学院医学系研究科教授)

緩和医療学

淀川キリスト教病院ホスピス長を経て、大阪大学に日本で最初に開設された緩和医療学講座の教授に就任

緩和ケアの第一人者

著書に、『緩和ケアエッセンシャルドラッグ』(共著)(医学書院 2008年)など

森岡 正博 (大阪府立大学人間社会学部人間科学科教授)

哲学

生命倫理、ジェンダー・セクシュアリティ、環境問題など、幅広いテーマで活躍する哲学者

著書に、『生命観を問いなおす エコロジーから脳死まで』(ちくま新書 1994年)

『無痛文明論』(トランスビュー 2003年)

『生命学をひらく 自分と向きあう「いのち」の思想』(トランスビュー 2005年)

『草食系男子の恋愛学』(メディアファクトリー 2008年)など

ホストプロフィール：

大村 英昭 (関西学院大学社会学部教授・大阪大学名誉教授)

宗教社会学者

非行問題とラベリング、「しずめ」の社会学で著名

社会学と宗教学の立場から、現代社会の病理を看破する

著書に、『臨床仏教学のすすめ』(世界思想社 2002年)

『日本人の心の習慣—鎮めの文化論』(NHK ライブラリー 1997年)

『非行のリアリティー「普通」の男子の生きづらさ』(世界思想社 2002年)

石蔵 文信 (大阪大学大学院医学系研究科准教授)

循環器内科・神経内科

大阪市内で男性更年期障害外来を担当

「一般医-精神科医ネットワーク(G-P ネット)」を立ち上げ、自殺予防のための活動を行っている

著書に、『男もつらいよ!—男性更年期』(ソシム 2007年)

『パンツの中の健康』(双葉社 2004年)

『巨人性うつと阪神不安』(双葉社 2003年)など